

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		体 育			
教育内容		基礎分野 人間と生活・社会の理解	履修年次	1年次	履修時期 前期
単位(時間数)		1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間 2時間
担当教員		大学准教授	実務経験		
科目目的		スポーツを通して健康の増進を図り、仲間とのコミュニケーションや集団行動力、協調性を養う。			
学習目標		1. 自らの健全な心身の発達を促し、体力づくりや健康維持のための運動の意義について理解する。 2. 仲間づくりや集団としての協調性、社会性を身につける。			
授業計画	回	授業内容			授業方法
	1	健康・スポーツの意義・目的とその役割			講義 演習(実技)
	2	準備運動の方法			
	3	体づくり運動			
	4～6	ニュースポーツ			
	7～15	スポーツの実践(球技) 1)バレーボール 2)バドミントン 3)バスケットボール 4)障がい者スポーツ 基本練習、リーグ戦を行う			
使用教材					
成績評価の方法		受講態度、実技評価			

科目名		医療倫理				
教育内容		基礎分野 人間と生活・社会の理解	履修年次	1年次	履修時期	前期
単位(時間数)		1単位(15時間)	講義時間	14時間	試験時間	1時間
担当教員		学校長 認知症看護認定看護師 緩和ケア認定看護師	実務経験	病院実務経験あり		
科目目的		医療における倫理的課題、生命の尊厳と人権について学び、医療者としての倫理観を養う。				
学習目標		1. 生命と倫理的な課題の現状を理解する。 2. インフォームドコンセントについて理解する。 3. 生命の尊厳について他者との考えを共有し、自己の考えを述べられる。				
授業計画	回	授業内容			授業方法	
	1	単元:生きることと死ぬこと 担当:学校長 1)生命を尊ぶ心 誕生の喜び、命をいつくしむ心、生命の価値、生活の質、死生学 2)健康とは ヘルスリテラシー、ヘルスプロモーション 社会と健康			グループワーク 講義 講義	
	2	単元:医療と社会 担当:学校長 1)倫理とは 2)生命倫理とは 3)患者の権利			グループワーク 講義	
	3	4)最先端医療 臓器移植医療、生殖補助医療、再生医療、ゲノム医療			講義 グループワーク	
	4	5)医療情報			講義	
	5	単元:終末期医療 担当:緩和ケア認定看護師 または がん看護専門看護師 がん、非がんの緩和ケア			グループワーク 講義	
	6	終末期における患者の意思決定				
	7	単元:老いと医学 担当:認知症看護認定看護師 高齢者の権利 「老い」と向き合う 認知症と向き合う			グループワーク 講義	
	8	試験				
使用教材		系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度① 医療概論 医学書院				
参考文献		講義内で紹介				
成績評価の方法		筆記試験				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		心 理 学				
教育内容		基礎分野 人間と生活・社会の理解	履修年次	2年次	履修時期	前期
単位（時間数）		1単位（30時間）	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員		心理判定員	実務経験	臨床実務経験あり		
科目目的		人間の心理と行動の関連を学び、包括的に人間を理解するための素地を養う。				
学習目標		1. 基礎的な心理学の理論を学び、人間理解に役立てる。 2. 行動科学からの人間理解と行動変容についての理解を深める。				
授業計画	回	授業内容				授業方法
	1	オリエンテーション				講義
		・学習　・記憶				
	2	・感覚　・知覚				講義 錯視体験
	3	・感情 感情の種類、感情生起の原因				講義
	4	・動機と欲求 動機と欲求の種類、欲求不満と葛藤				講義
	5	・性格と知能の心理 性格の理論、パーソナリティの障害				講義
	6	知能、知能検査、知的障害				講義
	7	・乳幼児期の発達 コミュニケーション　感情など 心理社会的発達課題と危機				講義
	8	・乳幼児期、児童期の心理的問題 精神疾患、虐待				講義
	9	・青年期 青年期の発達と課題 青年期の心理的問題				講義
	10	・成人期　老年期 成人期　老年期の発達と課題 成人期　老年期の心理的問題 老年期の心理検査				講義
	11	・患者の理解 患者行動の理解と心理学 ストレス理論 主観的統制感と健康				講義 講義
	12	・行動分析				講義
	13	・行動随伴性 ・モデリング				講義
	14	・シェイピング・チェイニング・分化強化等 ・医療現場での行動分析の応用				講義
	15	試験				
使用教材		看護学生のための心理学 第2版 医学書院				
参考文献		必要に応じて資料を配布				
成績評価の方法		筆記試験				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		哲 学			
教育内容	基礎分野 人間と生活・社会の理解	履修年次	2年次	履修時期	前期
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	30時間	試験時間	—
担当教員	大学准教授	実務経験			
科目目的	物事の本質を洞察し、理性的な思考を通じて、人間としての生き方を思索し、看護を深く思惟する姿勢を養う。				
学習目標	人間の合理的な面と不合理的な面を理解し、人間の行動の「理由」を理解することで他者への理解を深めると同時に、他者への偏見を軽減し、より寛容な姿勢をもって他者と接することになること。				
授業計画	回	授業内容		授業方法	
	1	人類最古の知：神話の特徴。われわれの内にある神話的発想			
	2	神話に充たされない人々の誕生。ブッタ、孔子、預言者たちについて			
	3	哲学の誕生。自然哲学の特徴。材料探しとその成果			
	4	ソクラテスによる新しい問題：魂。その新しさ。その方法としての対話。			
	5	「対話篇メノン」を実際に読んでみよう。			
	6	プラトンによる新展開。「魂の不死」と「イデア」。			
	7	アリストテレスの哲学。「学問知」とは？			
	8	アリストテレスの倫理学。幸福説。可能性の発揮。			
	9	古典ギリシアにおける医学。ヒポクラテスの思想。			
	10	魂の平安を求める思想。ストア派、快楽主義、懐疑主義。			
	11	宗教について、原始宗教と世界宗教の特徴。			
	12	世界宗教の例、キリスト教入門。			
	13	中世思想と近代思想の特徴。			
	14	デカルト。原点としての「私」。			
	15	「私」を掘り下げる哲学。カント、フロイト、マルクス、ハイデガーなど。			
使用教材	教科書なし				
成績評価の方法	試験(レポート)100点				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		教育学			
教育内容	基礎分野 人間と生活・社会の理解	履修年次	2年次	履修時期	前期
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	30時間	試験時間	—
担当教員	短期大学教授	実務経験			
科目目的	教育の本質を学び人間形成における教育の機能を理解し、看護において教育的な働きかけができる能力を養う。				
学習目標	1.「教育」とは何か、相手/他者に“伝える”“伝わる”情報について考える。 2. 他者理解のための視野を広げる。 3.「学校に行くこと」をキーワードとして、現代教育で問われている諸問題への関心を広げる				
授業計画	回	授業内容			授業方法
	第1回	1. 「教育」への視点～伝える、わかる、統制の是非 1) オリエンテーション			講義 自由記述①
	第2回	2) 情報の有無による認識の違い 2. 学校に行くことが当たり前になるまで 1) 近代日本教育制度のはじまり			講義
	第3回	2) 就学率推移と国家主義教育の形成			自由記述②
	第4回	3) 戦後教育とその課題			講義
	第5回	3. 「捨て子」養育を考える 1) 「赤ちゃんポスト」の争点 2) イタリアの養育院の事例から			自由記述③
	第6回	4. 保育場面の観察から～記録から想像できること			講義 自由記述④
	第7回	5. 「教育」「人間形成」の考え方 1) 性悪説、性善説と教育 2) 集団、環境と人間形成			講義 自由記述⑤
	第8回	3) 不連続的「出会い」、習慣と人間形成			自由記述⑥
	第9回	4) 「教える」とは			
	第10回	6. 学校に行くことが当たり前になったため起こったこと 1) いじめ 2) 不登校の歴史的推移			講義
	第11回	3) 不登校の今日			自由記述⑦
	第13回	1. 学校に行くことが当たり前とされなかった人たち 1) 視覚障害者の教育から 2) インテグレーションからインクルージョンへ			講義・点字器使用 自由記述⑧
	第14回	2. 教具の役割 1) フレーベルの教育思想と教具 2) 門てそーりの教育思想と教具 試験			講義・遊具使用 レポート作成、提出
使用教材	必要時に講義資料を配付する				
参考文献	各講義資料に示す				
成績評価の方法	レポート試験（授業時に実施する自由記述内容を勘案する）				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		人間関係論				
教育内容		基礎分野 人間と生活・社会の理解	履修年次	1年次	履修時期	前期
単位(時間数)		1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員		公認心理師	実務経験	実務経験あり		
科目目的		臨床心理学やカウンセリングの理論・技法を応用し、看護におけるコミュニケーション能力を向上させる				
学習目標		人間関係の基礎およびコミュニケーションの理論と技法について理解する。				
授業計画	回	授業内容			授業方法	
	1	オリエンテーション「人間関係論」の概要・自己理解と他者理解			講義	
	2	対人葛藤と社会的役割、態度と行動			講義	
	3	集団と個人のメカニズム			講義	
	4	様々なコミュニケーション			講義	
	5	コミュニケーションの理論・演習①			講義・演習	
	6	コミュニケーションの理論・演習②			講義・演習	
	7	保健医療チームにおける人間関係			講義	
	8	患者を支える人間関係①			講義	
	9	様々な看護場面における人間関係			講義	
	10	発達に応じた人間関係			講義	
	11	患者を支える人間関係②			講義	
	12	家族理解・家族エンパワメント			講義	
	13	地域・社会における協働と人間関係			講義	
	14	カウンセリングと心理療法			講義	
	15	試験			試験	
使用教材		系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 医学書院				
参考文献		講義内で紹介				
成績評価の方法		筆記試験(90%)、講義内での演習・ショートレポート(10%)				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		社 会 学				
教育内容		基礎分野 人間と生活・社会の理解	履修年次	1年次	履修時期	前期
単位(時間数)		1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員		大学准教授	実務経験			
科目目的		社会の構造と機能を学び、社会的存在としての人間を理解する素地を養う。				
学習目標		社会学の基本的な考え方について理解し、社会学的な思考を身につけることによって、より広い視野で医療現場をとらえられるようになる。				
授業計画	回	授業内容				授業方法
	1	社会学とはどんな学問か				講義
	2	食の社会学①				講義
	3	食の社会学②				講義
	4	食の社会学③				講義
	5	食の社会学(4)				講義
	6	ジェンダーの社会学①				講義
	7	ジェンダーの社会学②				講義
	8	ジェンダーの社会学③				講義
	9	ジェンダーの社会学④				講義
	10	ナショナリズムの社会学①				講義
	11	ナショナリズムの社会学②				講義
	12	ナショナリズムの社会学③				講義
	13	ナショナリズムの社会学④				講義
	14	医療の社会学				講義
	15	試験				講義
使用教材						
成績評価の方法		筆記試験				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス) 案

科目名		日本の文化と生活				
教育内容		基礎分野 人間と生活・社会の理解	履修年次	1年次	履修時期	後期
単位(時間数)		1単位(15時間)	講義時間	14時間	試験時間	1時間
担当教員		大学准教授	実務経験			
科目目的		日本の文化を学び、地域の背景にある多様な文化、生活、価値観について理解する。				
学習目標		1. 文化的背景による人間の多様な価値観や信念、生活様式の理解を深める。 2. 自文化を捉え直し、他者を理解する力を養う。				
授業計画	回	授業内容				授業方法
	1	1 人間と文化				講義、演習
	2					
	3					
	4					
	5					
	6	2 人生と通過儀礼				
	7	1) 誕生儀礼 2) 成熟儀礼 3) 結婚の儀礼、葬式				
	8	3 いのちと文化 1) いのちの多様性 2) 誕生と死における人のいのち 3) いのちと身体				
8	試験					
使用教材		系統看護学講座 基礎分野 文化人類学 医学書院				
成績評価の方法		筆記試験				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		英 語			
教育内容	基礎分野 人間と生活・社会の理解	履修年次	1年次	履修時期	10月～2月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	短期大学専任講師	実務経験			
科目目的	看護における国際的視野を広げ、国際的な医療現場に対応できるよう、看護英会話および英語論文の原著読解能力を養う。				
学習目標	医療・看護に必要な単語・文法などの基礎的な能力を養う。				
授業計画	回	授業内容			授業方法
	1	オリエンテーション 授業の進め方と評価方法 授業準備について			プリント シラバス 授業、評価について 自己紹介
	2	Pre Unit 1 Introducing Myself and family (自己紹介)			
	3	Unit 1 Hospital Departments(病院の科)			
	4	Unit 1 Hospital Departments(病院の科)			単語調べなどの予 習確認 語彙の確認と練習 本文の内容確認 演習問題・音読練習 次時予告と課題
	5	Unit 2 Application Forms(問診票の記入)			
	6	Unit 3 Parts of Body(身体のパーツ)			
	7	Unit 3 Parts of Body(身体のパーツ)			毎時PC利用 パワーポイント 学生は辞書(紙、電 子、タブレットすべて 可)
	8	Unit 4 Illnesses(病気の種類)			
	9	Unit 5 (病気の種類)			
	10	Unit 5 (病気の種類)			
	11	Unit 6 Hospital Objects(医療用品)			
	12	Unit 6 Hospital Objects(医療用品)			
	13	Unit 7 Locations of Hospital Objects(医療用品の収納場所)			
	14	Unit 8 Hospital directions and Instructions(病院の案内)			
	15	テスト			
使用教材	ホスピタルイングリッシュ2 Vital Signs2 Reading&Writing 南雲堂				
成績評価の方法	筆記試験 予習 授業に取り組む姿勢				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		家族関係論				
教育内容		基礎分野 人間と生活・社会の理解	履修年次	2年次	履修時期	後期
単位(時間数)		1単位(15時間)	講義時間	14時間	試験時間	1時間
担当教員		大学教授 臨床発達心理士	実務経験			
科目目的		家族のあり方を学び、現代社会が直面する、さまざまな家族問題を理解する。				
学習目標		家族が多様化し、家族を取り巻く問題も複雑さを増している現代家族をめぐるさまざまな問題や人間関係について、社会・心理学的立場から理解を深める。専門職として家族を支えるために何が必要か、個々人が自分で考えることができる力を養うことが目標となる。				
授業計画	回	授業内容			授業方法	
	1	家族看護とは何か			・教科書を使用する 講義を基本とするが、一部演習を取り入れる	
	2	家族看護の対象理解～夫婦				
	3	家族機能 現代の家族とその課題				
	4	家族看護の展開方法 家族アセスメント				
	5	家族支援のアプローチ(1)－家族システム論 ナラティブアプローチ				
	6	家族支援のアプローチ(2)－家族発達論				
	7	家族看護の実践～事例検討				
	8	事例についての考え方				
使用教材		系統看護学講座 別巻 家族看護学 医学書院				
成績評価の方法		筆記試験				